

エコアクション21 環境活動レポート



第2版

(平成27年6月29日発行)

運用期間：平成26年4月～平成27年3月

 快適な暮らしを創造する
OKAMURA 株式会社 オカムラ
TEL:0964-33-0131 FAX:0964-33-0985

I. 環境方針および行動指針

環境方針

株式会社 オカムラは、事業活動を通じ、安心・安全・安定した地域社会実現のため環境に関する行動指針を定め、完遂に向け邁進します。

行動指針

環境方針の実現に向けて以下のことを行動指針と致します。

1. 循環型社会の構築に向け、先進技術の導入等によりリサイクル率を向上させ廃棄物排出量及び総排水量の抑制を行います。
2. 作業の安全に心掛け、火気・臭気・排水に細心の注意を払い環境の汚染を防止します。
3. 環境関連法令等を遵守し、社内及びお客様・地域のみなさまが安心して暮らせる環境づくりに努めます。
4. エコドライブや節電を実践し、二酸化炭素排出量の抑制に取り組みます。
5. 環境に配慮した製品や資機材の購入を推進します。
6. この環境方針を全社員に配布及び掲示し、環境への意識高揚を図るとともに、職場以外においても、行動指針を順守します。

制定日：平成 25 年 1 月 5 日

株式会社 オカムラ

代表取締役

岡村健志

目次

I. 環境方針および行動指針	2
目次	3
II. 組織概要	5
1. 事業所概要	5
2. 社有地	6
◆ 本社事務所	6
◆ 社員駐車場①	6
◆ 本社ビル管理係倉庫・車庫	6
◆ リサイクル事業部	6
◆ リサイクルセンター	6
◆ 社員駐車場②	6
◆ リサイクル駐車場	6
◆ 環境保全部車庫・作業場	6
◆ 熊本南営業所（クリクラ熊本）	6
3. 組織図	7
4. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	7
5. 事業内容	8
◆ 一般廃棄物収集運搬業務	8
◆ 産業廃棄物収集運搬業務	9
◆ 特別管理産業廃棄物収集運搬業務	9
◆ 一般廃棄物中間処理業務	10
◆ 産業廃棄物中間処理業務	10
◆ 産業廃棄物処理施設	11
◆ 処理工程図	11
◆ 産業廃棄物処理実績	15
◆ 総合水処理業務	16
◆ 総合建物管理業務	16
◆ 給水施設管理業務	16
◆ 建築物維持管理業務	16
◆ その他	16
III. 環境マネジメントシステム運営	18
1. 適用範囲	18
2. 実施体制	19
3. 役割分担表	20
4. 環境目標	21
◆ 中期（3か年）環境目標（平成26年度～平成28年度）	21

5.	環境活動計画	22
6.	環境目標の実績	23
7.	環境活動計画の取組状況とその評価	24
◆	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	25
8.	取組結果とその評価、次年度の取組内容	25
◆	電力使用量の削減	25
◆	化石燃料使用量の削減	25
◆	水使用量の削減	26
◆	一般廃棄物（可燃ごみ）の排出量削減	26
◆	受託産業廃棄物（中間処理）のリサイクル率100%推進	26
◆	グリーン購入率の向上	26
◆	化学物質の適正管理	26
◆	社会貢献・清掃活動実施	26
9.	代表者による全体評価と見直しの結果	27

II. 組織概要

1. 事業所概要

事業所名 株式会社オカムラ
代表者 代表取締役 岡村 健志
住所 熊本県宇城市松橋町久具 1948-1
TEL 0964-33-0131
設立年月日 昭和61年5月16日
従業員 148名
資本金 1,000万円

事業内容

<リサイクル事業部>

一般・産業廃棄物収集運搬業務
一般・産業廃棄物中間処理業務
管洗浄業務
衛生器具レンタル

<総合管理部>

ビル清掃
貯水槽・配水池清掃
給水装置管理

<環境保全部>

工業排水処理施設維持管理
下水道維持管理
農業排水処理施設維持管理
浄化槽管理

し尿汲み取り

<指定管理部>

公共施設指定管理業務

<営業部>

飲料水販売業

売上高 796,939千円

(事業会計年度：平成26年4月～平成27年3月)

2. 社有地

◆ 本社事務所

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1948-1
T E L 0964-33-0131
F A X 0964-33-0985
延べ床面積 497.70㎡

◆ 社員駐車場①

住 所 熊本県宇城市松橋町久具財間 1954
面 積 680.00㎡
管 理 者 前田 光也

◆ 本社ビル管理係倉庫・車庫

住 所 熊本県宇城市松橋町久具財間 1953-2
延べ床面積 321.00㎡
管 理 者 前田 光也

◆ リサイクル事業部

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1821-1
T E L 0964-27-8686
F A X 0964-27-8700
延べ床面積 2,097.00㎡

◆ リサイクルセンター

住 所 熊本県宇城市松橋町久具 1822-1
T E L 0964-27-8686
F A X 0964-27-8700
延べ床面積 512.83㎡

◆ 社員駐車場②

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 1800
面 積 502.00㎡
管 理 者 竹口 功

◆ リサイクル駐車場

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 3088
面 積 898.80㎡
管 理 者 中村 康人

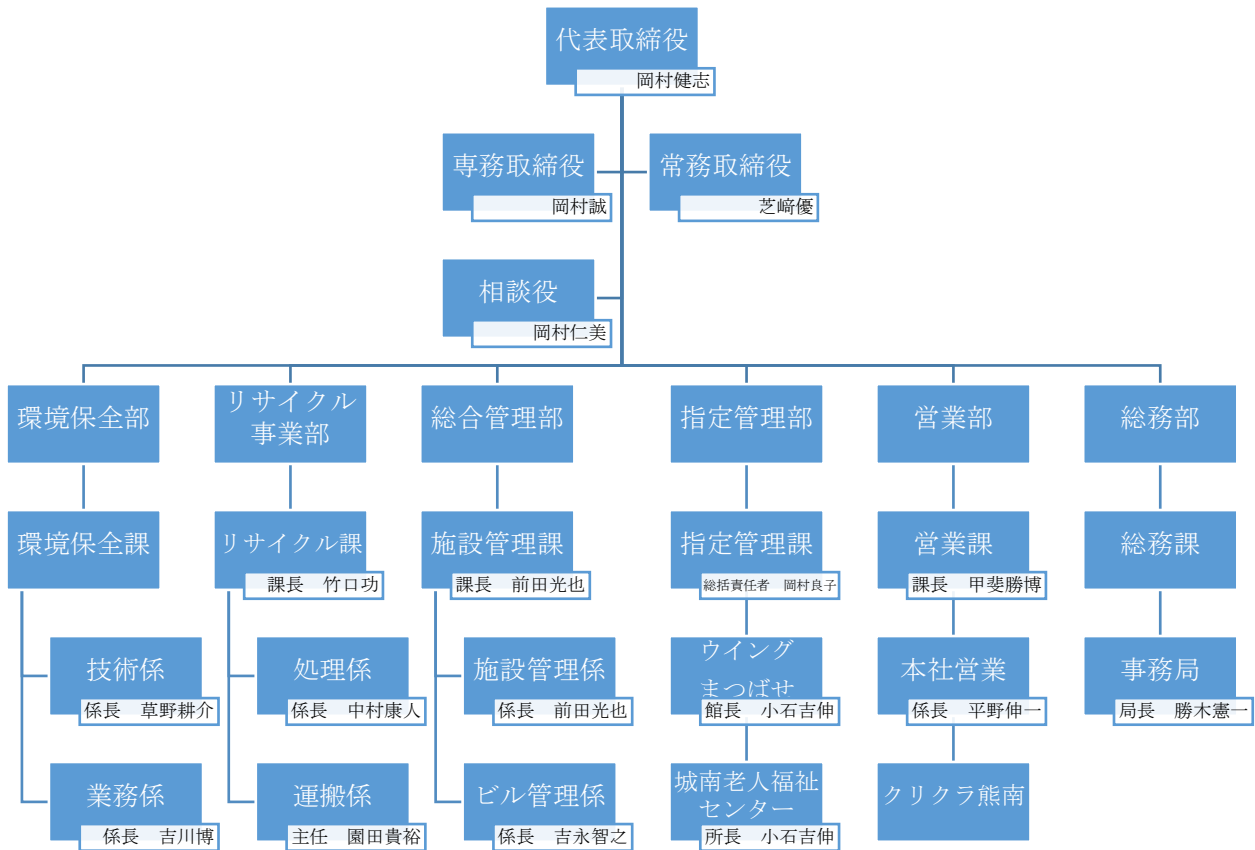
◆ 環境保全部車庫・作業場

住 所 熊本県宇城市松橋町久具微雨 1707-2
延べ床面積 331.43㎡
管 理 者 吉川 博

◆ 熊本南営業所（クリクラ熊南）

住 所 熊本県熊本市南区富合町志々水 191
T E L 096-358-4466
F A X 096-358-4467
延べ床面積 105.00㎡

3. 組織図



※指定管理部…対象範囲には含まれませんが、環境に配慮した運営を行っております。

4. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

• 環境管理責任者

常務取締役 芝崎 優

TEL : 0964-33-0131

FAX : 0964-33-0985

• 環境管理担当者

課長 竹口 功

TEL : 0964-33-0131

FAX : 0964-33-0985

5. 事業内容

◆ 一般廃棄物収集運搬業務

許認可等の種類	許認可番号等	登録車両番号	
一般廃棄物収集運搬業	熊本市 第14R-140号	熊本 800 す 9532 熊本 46 と 7767	熊本 800 さ 6366
	宇城市 宇城市環第3-13号 し尿及び浄化槽汚泥を除く 一般廃棄物	熊本 800 す 5470	熊本 800 す 1265
		熊本 800 す 4446	熊本 800 す 4456
		熊本 800 す 5471	熊本 800 す 7013
		熊本 800 す 7194	熊本 800 す 7684
		熊本 800 す 8386	熊本 400 た 2669
		熊本 100 す 5288	熊本 100 さ 9872
		熊本 400 そ 9485	熊本 100 は 2747
宇城市 宇城市環第1-4号 ※し尿及び浄化槽汚泥	熊本 800 さ 2577	熊本 800 す 5330	
	熊本 100 せ 4834	熊本 100 せ 4800	
	熊本 88 す 9513		
宇土市 第14号	熊本 800 す 5261	熊本 800 す 1326	
	熊本 800 す 4176	熊本 800 さ 6518	
	熊本 800 さ 8466	熊本 800 は 56	
氷川町 氷川町許可第26-2号	熊本 88 せ 733	熊本 88 す 6341	
	熊本 800 す 4456	熊本 800 す 4446	
	熊本 88 す 9513	熊本 800 す 7013	
美里町 美里衛下第421号	熊本 800 す 4446	熊本 100 さ 9872	
	熊本 100 せ 4834	熊本 800 す 5470	
	熊本 800 す 5471	熊本 800 す 4446	
	熊本 800 す 4456	熊本 800 す 7013	
	熊本 100 は 2747	熊本 100 さ 9872	
	熊本 400 そ 9485	熊本 400 た 2669	
	熊本 100 す 5288	熊本 800 さ 2577	
八代市 許可(収・改)第26-61号	熊本 800 す 5330	熊本 100 せ 4800	
	熊本 88 す 9513		
	熊本 800 す 4446	熊本 800 す 4456	
	熊本 100 さ 9872	熊本 800 す 7013	
	熊本 88 す 9513		

◆ 産業廃棄物収集運搬業務

許認可番号等	熊本県 第 4300004186 号		
登録車両番号	熊本 800 す 8584 熊本 100 さ 9872 熊本 400 た 2669 熊本 100 は 2747 熊本 100 せ 4800 熊本 11 ゆ 5354	熊本 400 つ 8187 熊本 800 さ 9511 熊本 100 す 5288 熊本 800 さ 2577 熊本 100 せ 4834	熊本 88 す 9513 熊本 400 そ 9485 熊本 100 す 7870 熊本 800 す 5330 熊本 800 す 5471
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類、がれき類、汚泥、動植物性残さ、ゴムくず、木くず、紙くず、繊維くず、廃酸、廃アルカリ、廃油、燃え殻（これらのうち石綿含有産業廃棄物、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）		

許認可番号等	福岡県 第 4000004186 号		
登録車両番号	熊本 100 は 2747 熊本 100 せ 4800	熊本 100 せ 4834 熊本 11 ゆ 5354	熊本 100 す 7870
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、（以上 3 品目については、自動車等破砕物を除く。）、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ		

◆ 特別管理産業廃棄物収集運搬業務

許認可番号等	熊本県 第 4350004186 号		
登録車両番号	熊本 800 さ 2577 熊本 100 せ 4800	熊本 800 す 5330 熊本 100 せ 4834	
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	廃酸（水素イオン濃度指数が 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、廃アルカリ（水素イオン濃度指数が 12.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、感染性産業廃棄物		

許認可番号等	福岡県 第 4050004186 号		
登録車両番号	熊本 100 せ 4800	熊本 100 せ 4834	
事業区分	収集運搬業 (積替及び保管行為を含まない)		
取り扱う産業廃棄物の種類	廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、廃酸（水素濃度指数 2.0 以下のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、廃アルカリ（水素イオン濃度指数 12.5 以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）、感染性産業廃棄物 以上 4 品目		

◆ 一般廃棄物中間処理業務

許認可番号等	宇城市 宇城市環第 4-2 号
取扱一般廃棄物の種類	し尿及び浄化槽汚泥を除く一般廃棄物
選別	磁力選別機 (5.0t 未満/8ht) 手選別ベルトコンベア
溶融	1 施設 (発泡スチロール 320 kg/8ht)
破碎	2 施設 (5.0t 未満/8ht×2 施設)
圧縮	1 施設 (金属 5.0t 未満/8ht)
圧縮梱包	1 施設 (廃プラ 80t/8ht)
精製	1 施設 (食用油 100ℓ/8ht)
その他	計量器×1 施設・車両 (フォークリフト) × 2 施設

◆ 産業廃棄物中間処理業務

許認可番号等	熊本県 許可番号 第 04320004186 号		
許可の年月日	平成 24 年 2 月 8 日		
許可の有効期限	平成 29 年 2 月 7 日		
処理方式	取り扱う産業廃棄物の種類	処理能力	
破碎	木くず、廃プラスチック類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	木くず 廃プラスチック類	2.3t/日 (8h) 3.5t/日 (8h)
圧縮・梱包	紙くず、繊維くず、金属くず、廃プラスチック類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	紙くず 繊維くず 金属くず 廃プラスチック類	740.8 t/日 (8h) 106.4 t/日 (8h) 649.6 t/日 (8h) 769.6 t/日 (8h)
分解・選別①	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物、自動車等破碎物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	1.5 t/日 (8h)	
分解・選別②	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類 (これらのうち石綿含有産業廃棄物、自動車等破碎物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	3.6 t/日 (8h)	
減容	廃プラスチック類 (廃発泡スチロールに限り、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	0.32 t/日 (8h)	

廃棄物処理費につきましては、個別見積とさせていただきます。

◆ 産業廃棄物処理施設

処理方法	項目	
破砕	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1820 番 2
	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	木くず 2.3 t/日 (8h) 廃プラスチック類 3.5 t/日 (8h)
圧縮・梱包	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1
	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	紙くず 740.8 t/日 (8h) 繊維くず 106.4 t/日 (8h) 金属くず 649.6 t/日 (8h) 廃プラスチック類 769.6 t/日 (8h)
	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1
分解・選別 ①	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	1.5 t/日 (8h)
	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1820 番 2
分解・選別 ②	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	3.6 t/日 (8h)
	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1
減容	設置年月日	平成 23 年 9 月 4 日
	処理能力	0.32 t/日 (8h)
	設置場所	熊本県宇城市松橋町久具字微雨 1821 番 1

◆ 処理工程図

産業廃棄物中間処理（リサイクル事業部）

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先
排出事業者 (282.7 t)	木くず (251.2 t)	破砕	木チップ [S1] (251.2 t)	燃料メーカー (251.2 t)
	廃プラスチック類 (25.9 t)		硬質プラチップ (25.9 t)	再生原料メーカー (25.9 t)
	紙くず (0.0 t)	圧縮・梱包	軟質プラプレス (0.0 t)	製紙メーカー (0.0 t)
	繊維くず (0.0 t)		古紙バール (0.0 t)	2次処理メーカー (0.0 t)
	金属くず (5.4 t)		金属プレス (5.4 t)	鉄鋼メーカー (5.4 t)
	混合物 (0.0 t)		※品目別に再選別 (0.0 t)	2次処理業者 (0.0 t)
	陶磁器くず (0.2 t)	分解選別①	再生砕石 (0.2 t)	自社行程へ (0.0 t)
	ガラスくず (1.7 t)	分解選別②		2次処理業者 (0.2 t)
		選別		2次処理業者 (1.7 t)
		選別		

※数量の減少は異物、ロス、および品目違い等、出荷数量は合算となっているものもあります。

産業廃棄物収集運搬（リサイクル事業部）

排出者	廃棄物種類	収集運搬量	処理方法	処分先
排出事業者 (1432.0 t)	ガラス・陶磁器 (53.6 t)	(53.6 t)	選別	A社 (1.6 t) B社 (0.5 t)
	汚泥 (912.3 t)	(912.3 t)	焼却	D社 (51.4 t)
			メタン発酵	D社 (115.3 t)
			管理型埋立	D社 (1.5 t)
			焼却	D社 (0.5 t)
			他用途原材料化	D社 (794.1 t)
			コンポスト化	E社 (0.9 t)
	金属くず (6.1 t)	(6.1 t)	選別	A社 (4.1 t) B社 (2.0 t)
	廃液 (3.8 t)	(3.8 t)	焼却	D社 (3.8 t)
	廃アルカリ (9.6 t)	(9.6 t)	中和	D社 (9.6 t)
	木くず (237.4 t)	(237.4 t)	選別	A社 (237.1 t)
	感染性産業廃棄物 (77.8 t)	(77.8 t)	破碎	B社 (0.2 t)
			焼却	D社 (77.8 t)
廃油 (0.0 t)	(0.0 t)	焼却	(0.0 t)	
廃プラ (114.3 t)	(114.3 t)	選別	A社 (9.6 t)	
		選別	B社 (5.0 t)	
		選別	C社 (2.4 t)	
		焼却	D社 (88.3 t)	
		熔解	F社 (8.9 t)	
動植物性残渣 (17.2 t)	(17.2 t)	焼却	D社 (17.2 t)	

一般廃棄物中間処理（リサイクル事業部）

排出者	受入品目	処理方法	出荷品目	出荷先	
宇城市 委託処理分 (901.2 t) + (74千本)	アルミ缶 (25.6 t)	選別・圧縮	アルミプレス [A1]	鉄鋼メーカー (112.0 t) [A1+A2]	
	スチール缶 (22.9 t)	選別・圧縮	Cプレス [B1]	鉄鋼メーカー (160.2 t) [B1+B2]	
	ペットボトル (31.9 t)	選別・圧縮	ペットプレス [C1]	2次処理業者 (116.8 t) [C1+C2]	
	透明びん (53.4 t)	選別・保管	透明カレット [D1]	2次処理業者 (104.9 t) [D1+D2]	
	茶色びん (61.6 t)	選別・保管	茶カレット [E1]	2次処理業者 (126.2 t) [E1+E2]	
	その他の色のびん (16.2 t)	選別・保管	その他カレット [F1]	2次処理業者 (11.3 t) [F1+F2]	
	新聞・チラシ (248.9 t)	選別・圧縮梱包	新聞プレス [G1]	新聞プレス (485.2 t) [G1+G2]	
	雑古紙 (148.5 t)	選別・圧縮梱包	雑誌プレス [H1]	雑誌プレス (629.4 t) [H1+H2]	
	段ボール (66.3 t)	選別・圧縮梱包	段ボールプレス [I1]	段ボールプレス (667.8 t) [I1+I2]	
	生きびん (74千本)	選別・保管	一升びん [J1]	酒造問屋 (28千本) [J1+J2]	
	古布 (46.0 t)	選別・保管	ビールびん [K1]	酒造問屋 (102千本) [K1+K2]	
	プラスチック類 (81.6 t)	選別・圧縮梱包	ウエス [L1]	2次処理業者 (85.5 t) [L1+L2]	
	発泡スチロール (6.3 t)	選別・溶融	プラプレス	2次処理業者 (81.4 t)	
	金属類 (53.5 t)	選別	保管	PS(フット) [M1]	2次処理業者 (19.7 t) [M1+M2]
			圧縮	鉄 [N1]	2次処理業者 (190.1 t) [N1+N2]
	廃食用油 (5.1 t)	保管	非鉄 [O1]	鉄プレス [P1]	2次処理業者 (31.3 t) [O1+O2]
				非鉄プレス [Q1]	鉄鋼メーカー (30.5 t) [P1+P2]
粗大ごみ (33.7 t)	選別	保管	廃食用油 [R1]	鉄鋼メーカー (3.8 t) [Q1+Q2]	
		処理	可燃ごみ	2次処理業者 (9.8 t) [R1+R2]	
			処理困難物	宇城クリーンセンター (24.2 t)	
				※上記各項目へ	

※数量の減少は異物、ロス、および品目違い等、出荷数量は合算となっているものもあります。

一般廃棄物中間処理（リサイクルセンター）

排出者	受入品目	処理方法		出荷品目	出荷先
一般持込 及び 自社回収 (3246.7t) ※次頁言	アルミ缶 (55.4 t)	選別	圧縮	アルミプレス [A2]	鉄鋼メーカー (112.0 t) [A1+A2]
	スチール缶 (74.5 t)			Cプレス [B2]	鉄鋼メーカー (160.2 t) [B1+B2]
	ペットボトル (76.6 t)			ペットプレス [C2]	2次処理業者 (116.8 t) [C1+C2]
	びん類 (74.2 t)			カレット [D2]	2次処理業者 (242.4 t) [D1+D2]
	飲料容器混合 (121.0 t)				上の各項目に含む
	新聞紙・チラシ (183.9 t)	選別	圧縮 梱包	新聞プレス [G2]	新聞プレス (485.2 t) [G1+G2]
	雑古紙 (267.6 t)			雑誌プレス [H2]	雑誌プレス (629.4 t) [H1+H2]
	段ボール (509.6 t)			段ボールプレス [I2]	段ボールプレス (667.8 t) [I1+I2]
	古紙その他 (131.0 t)			その他	2次処理業者 (23.1 t)
	一升びん (9557.0 t)	選別・保管		一升びん [J2]	酒造問屋 28千本 [J1+J2]
	ビールびん (37242本)	選別・保管		ビールびん [K2]	酒造問屋 102千本 [K1+K2]
	古布 (12.2 t)	選別・保管		ウエス [L2]	2次処理業者 (85.5 t) [L1+L2]
	プラスチック類 (73.3 t)	選別	圧縮 梱包	硬質プラプレス	2次処理業者 (9.2 t)
			圧縮 梱包	軟質プラプレス	2次処理業者 (72.2 t)
	発泡スチロール (11.8 t)	選別・溶融		PSインゴット [M2]	2次処理業者 (19.7 t) [M1+M2]
	鉄類 (91.1 t)	選別	保管	鉄 [N2]	2次処理業者 (190.1 t) [N1+N2]
			圧縮	鉄プレス [P2]	鉄鋼メーカー (30.5 t) [P1+P2]
	非鉄類 (19.7 t)	選別	保管	非鉄 [O3]	2次処理業者 (31.3 t) [O1+O2]
			圧縮	非鉄プレス [Q3]	鉄鋼メーカー (3.8 t)
	廃食油 (0.8 t)	保管		廃食油 [R2]	2次処理業者 (9.8 t)
雑品他 (29.9 t)	選別	保管	その他雑品	2次処理業者 (58.9 t)	
不燃ごみ (58.0 t)	選別	保管	不燃ごみ (ガラス他)	2次処理業者 (30.9 t)	

※次ページへ続く

排出者	受入品目	処理方法		出荷品目	出荷先
一般持込 及び 自社回収 (3246.7t) ※前頁含	木くず (73.0 t)	選別	破碎	木くずチップ [S2]	2次処理業者 (325.9 t) [S1+S2]
			保管	木くずその他	2次処理業者 (9.6 t)
	可燃ごみ (1702.0 t)	選別	保管	可燃ごみ	各自治体清掃工場 (1810.2 t)
	その他プラ (5.4 t)	選別	保管	その他プラ (PP他)	2次処理業者 (51.8 t)
	その他金属 (6.7 t)	選別	保管	その他金属 (モーター他)	2次処理業者 (15.2 t)
	混合物他 (44.5 t)	選別	保管	※上記各項目へ	※上記各項目へ

一般廃棄物収集運搬量

品目	数量 (t)
飲料容器類	132
古紙類	613
生きピン類	542本
鉄類	36
非鉄類	9
木くず類	44
可燃ごみ	1,653
プラスチック類	42
不燃物類	27
その他金属	2
混合物他	17

◆ 産業廃棄物処理実績

廃棄物の収集運搬量・処分量

項 目		単 位	平成 25 年度	平成 26 年度
産業 廃棄物	収集運搬量	t	1,254	1,432
	中間処理量	t	198	282
	うち再資源化等量	t	198	282
	最終処分量	t	0	0
	中間処理後の産廃の処分量	t	0	0
	うち再資源化等量	t	0	0

◆ 総合水処理業務

許認可等の種類	許認可番号等
浄化槽保守点検業	熊本県 熊本県知事(25)第 101 号
浄化槽清掃業	宇城市 宇城市環第 2-4 号

◆ 総合建物管理業務

許認可等の種類	許認可番号等
建築物環境衛生総合管理業	熊本県 熊本県 16 総第 3 号

◆ 給水施設管理業務

許認可等の種類	許認可番号等
建築物飲料水貯水槽清掃業	熊本県 熊本県 10 貯第 2 号

◆ 建築物維持管理業務

許認可等の種類	許認可番号等
建築物環境衛生総合管理業	熊本県 熊本県 16 総第 3 号
建築物ねずみ昆虫等防除業	熊本県 熊本県 21 ね第 1 号

◆ その他

衛生器具レンタル業

飲料水販売業

● 許可一覧

許認可等の種類	許認可等番号	有効期限	
建築物飲料水貯水槽清掃業	熊本県 10 貯第 2 号	H22.08.25~H28.08.24	熊本県
建築物環境衛生総合管理業	熊本県 16 総第 3 号	H22.08.31~H28.08.30	熊本県
建築物ねずみ昆虫等防除業	熊本県 21 ね第 1 号	H21.06.30~H27.06.29	熊本県
浄化槽保守点検業	熊本県知事(25)第 101 号	H25.07.23~H28.07.22	熊本県
浄化槽清掃業	宇城市環第 2-4 号	H26.04.01~H28.03.31	宇城市
産業廃棄物収集運搬業	第 4300004186 号	H23.07.05~H28.07.04	熊本県
特別管理産業廃棄物収集運搬業	第 4350004186 号	H25.06.30~H30.06.29	熊本県
産業廃棄物収集運搬業	第 4000004186 号	H25.09.13~H30.09.12	福岡県
特別管理産業廃棄物収集運搬業	第 4050004186 号	H25.09.03~H30.09.02	福岡県
産業廃棄物処理業（中間処理）	第 4320004186 号	H24.02.08~H29.02.07	熊本県
一般廃棄物処理業（中間処理）	宇城市環第 4-2 号	H26.04.01~H28.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業	第 14R-140 号	H26.04.01~H28.03.31	熊本市
一般廃棄物収集運搬業	宇城市環第 3-13 号	H26.04.01~H28.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業	宇城市環第 1-4 号	H26.04.01~H28.03.31	宇城市
一般廃棄物収集運搬業	第 14 号	H26.10.27~H28.05.31	宇土市
一般廃棄物収集運搬業	氷町許可第 26-2 号	H26.07.01~H28.06.30	氷川町
一般廃棄物収集運搬業	美里保第 901 号	H25.04.01~H27.03.31	美里町
一般廃棄物収集運搬業	許可（収・改）第 26-61 号	H26.10.31~H28.03.31	八代市
古物商	第 931170000898 号	H21.03.03	熊本県

● 施設等の状況

（車両の種類と台数）

車両の種類	台数	車両の種類	台数
パッカー車	11 台	吸引車	2 台
保冷車	2 台	10t ダンプ	1 台
冷凍冷蔵車	3 台	ユニック車	1 台
アームロール	3 台	ダンプ車	1 台
ゲート車	3 台	フォークリフト	3 台
ウイング車	1 台	ユンボ	3 台
高圧洗浄車	2 台	平ボディ車	1 台
バキューム車	8 台	その他	21 台

計：66 台（平成 27 年 3 月 31 日現在）

III. 環境マネジメントシステム運営

1. 適用範囲

下記の当社全サイトにおける、全組織、全事業、全従業員を対象範囲とする。

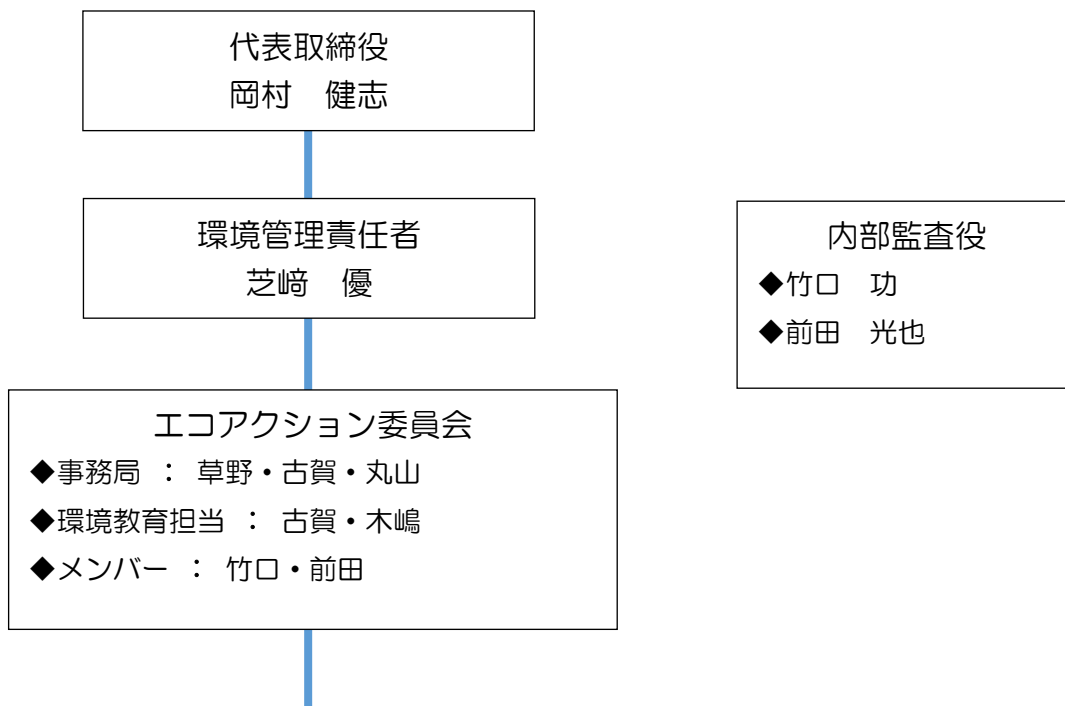
- 本社事務所
：環境保全部、総合管理部、営業部、総務部
- 社員駐車場①
：環境保全部、総合管理部、営業部、総務部
- 本社ビル管理係倉庫・車庫
：総合管理部
- リサイクル事業部
：リサイクル事業部
- リサイクルセンター
：リサイクル事業部
- 社員駐車場②
：リサイクル事業部
- リサイクル駐車場
：リサイクル事業部
- 環境保全部車庫・作業場
：環境保全部・リサイクル事業部
- 熊本南営業所
：クリクラ熊南

<適用除外>

下記のサイト及び事業部は業務の性質上、第三者の所有施設内での業務となるため、適用除外とする。
ただし、その業務の運営においては環境マネジメントに準じた運営を行うものとする。

- ウイングまつばせ
：指定管理部
- 小川ラポート
：指定管理部
- 熊本市城南町老人福祉センター
：指定管理部
- 各常駐清掃受託施設
：管理部

2. 実施体制



	電気担当	燃料担当	水道担当	排水担当	廃棄物担当	グリーン 購入担当
リサイクル事業部	深井	河野	長村	松本	山田	—
リサイクルセンター	橋本	岩田	豊岡	中村	岩田	—
環境保全部	田中大	津志田	石川	吉川	近藤雄	—
総合管理部	近藤勇	緒方	田中英	吉永	田添	—
指定管理部※	小石	村上	内田	内田	勝間田	平間
営業部	甲斐	平野	永本	永本	五嶋	—
総務部	宗村	勝木	宗村	勝木	勝木	宗村
熊本南営業所	内田	川上	栄永	柴垣	栄永	—

指定管理部…対象範囲には含まれませんが、環境に配慮した運営を行っております。

3. 役割分担表

代表取締役	<p>環境経営に関する統括責任</p> <p>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</p> <p>環境管理責任者の任命</p> <p>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</p> <p>環境目標・環境活動計画書を承認</p> <p>代表者による全体の評価と見直しを実施</p> <p>環境活動レポートの承認</p>
環境管理責任者	<p>EA21 委員会の委員長として委員会の運営</p> <p>環境経営システムの構築、実施、管理</p> <p>環境関連法規等の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底</p> <p>環境目標・環境活動計画書の確認</p> <p>環境活動の取組結果を代表者へ報告</p> <p>環境活動レポートの確認</p>
EA21 委員会	<p>環境管理責任者の補佐</p> <p>環境活動目標及び年間計画の検討</p> <p>環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</p> <p>環境関連文書及び記録の作成管理</p> <p>環境活動計画の実施・実績集計及び達成状況の報告</p> <p>従業員に対する教育訓練の実施、記録の作成</p> <p>環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び遵守評価の実施</p> <p>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</p> <p>環境活動レポートの作成、公開</p> <p>その他に EA21 に関する業務</p>
事務局	<p>関係者（各部門責任者、事務担当者等）を適宜召集し、環境経営システムの運用上必要となる諸事項に対応</p> <p>環境経営システム運用状況の把握、課題整理</p> <p>EA21 委員会での検討内容の計画立案</p>
環境教育担当	<p>全従業員に対して環境方針の周知を図るとともに、環境教育を計画的に行う</p>
電気担当	<p>担当部署に対し部署に電気の節約を呼びかける</p>
燃料担当	<p>担当部署に対し部署毎に燃料（ガソリン、軽油、灯油）の節約を呼びかける</p>
水道担当	<p>担当部署に対し部署毎に水の節約を呼びかける</p>
排水担当	<p>担当部署の排水状況を定期的に確認する</p>
廃棄物担当	<p>担当部署に対しごみの分別、削減を呼びかける</p>
グリーン購入担当	<p>再生原料を使用したものを選定しグリーン購入を推進する</p>
全従業員	<p>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</p> <p>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動を推進</p>

4. 環境目標

◆ 中期（3か年）環境目標（平成26年度～平成28年度）

（事業年度：4月～3月）

環境目標項目		単位	平成24年度 （実績・基準）	平成26年度 （目標）	平成27年度 （目標）	平成28年度 （目標）
電力使用量の削減		kWh	108,991	106,811 （2%削減）	105,721 （3%削減）	104,631 （4%削減）
化石燃料使用量の削減	ガソリン	L	19,571	19,179 （2%削減）	18,983 （3%削減）	18,788 （4%削減）
	軽油	L	121,473	119,043 （2%削減）	117,828 （3%削減）	116,614 （4%削減）
	灯油	L	869	851 （2%削減）	842 （3%削減）	834 （4%削減）
CO ₂ 排出量削減		Kg-CO ₂ /	423,698	415,224 （2%削減）	410,987 （3%削減）	406,750 （4%削減）
水の使用量の削減		m ³	543	532 （2%削減）	526 （3%削減）	512 （4%削減）
一般廃棄物の排出量削減		t	3.68	3.60 （2%削減）	3.56 （3%削減）	3.53 （4%削減）
受託産業廃棄物のリサイクル率100%推進		%	100	100	100	100
グリーン購入率の向上		%	再生原料を使用した商品を選定する	100	100	100
化学物質の適正管理		—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
社会貢献・清掃活動実施		回	1	2	2	2

5. 環境活動計画

環境活動計画と部署毎の実施項目

環境目標項目	環境活動計画 (具体的活動)	適用範囲							適用除外	
		リサイクル 事業部	リサイクル センター	環境保全部	総合管理部	営業部	熊本南営業所	総務部	各常駐先	指定管理部
電気使用量の削減	出来るだけ消灯する	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	できる限り残業しない	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	エアコンの設定温度は室温を基準とし、冷房時 28℃、暖房時 20℃に設定する(温度計設置)	○	○	○	○	○	○	○	○	△
化石燃料使用量の削減	ガソリン	アイドリングストップ	○	○	○	○	○	○	○	○
		エコドライブ実施(急発進急停止の禁止等)	○	○	○	○	○	○	○	○
	軽油	アイドリングストップ	○	○	○	—	—	—	—	—
		エコドライブ実施(急発進急停止の禁止等)	○	○	○	—	—	—	—	—
	灯油	退社 15 分前に暖房器具を止める	—	○	○	—	—	—	○	△
		ウォームビズの実施	○	○	○	○	○	○	○	○
水使用量の削減	水道メーターの定期確認	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般廃棄物の排出量削減	分別を徹底しリサイクルに努める	○	○	○	○	○	○	○	○	
受託産業廃棄物のリサイクル率 100%の推進	排出事業者様への情報提供を行い、リサイクル処理を促す	○	○	—	—	—	—	—	—	
グリーン購入率の向上	コピー用紙	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	○	○
	トイレットペーパー	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	▽ 支給の為	○	○
化学物質の適正管理	購入前に化学物質含有量等の確認を行う	—	—	○	○	—	—	—	—	
社会貢献・清掃活動実施	積極的に取り組む	○	○	○	○	○	○	○	○	

○：実施 △：出来るだけ実施 ▽：間接実施

※指定管理部および各常駐先については適用範囲外ですが、環境に配慮した運営を行っております。

6. 環境目標の実績

平成26年度環境目標の実績

(事業年度：4月～3月)

環境目標項目		単位	平成24年度 (実績・基準)	平成26年度 (目標)	平成26年度 (実績)	平成26年度 (目標達成率)
電力使用量の削減		kWh	108,991	106,811 (2%削減)	118,701	89.9%
化石燃料 使用量の 削減	ガソリン	L	19,571	19,179 (2%削減)	29,628	64.7%
	軽油	L	121,473	119,043 (2%削減)	131,118	90.7%
	灯油	L	869	851 (2%削減)	631	134.8%
CO ₂ 排出量削減		Kg- CO ₂ /	423,698	415,224 (2%削減)	465,369	89.2%
水の使用量の削減		m ³	543	532 (2%削減)	386	137.8%
一般廃棄物の排出量削減		t	3.68	3.60 (2%削減)	2.60	138.4%
受託産業廃棄物のリサイクル率 100%推進		%	100	100	100	100%
グリーン購入率の向上		%	再生原料を使用した 商品を選定する	100	100	100%
化学物質の適正管理		—	適正管理	適正管理	適正管理	—
社会貢献・清掃活動実施		回	1	2	2	100%

7. 環境活動計画の取組状況とその評価

評価期間：平成26年4月～平成27年3月

評価： ○：できた △：不足 ×できていなかった

環境目標項目	環境活動計画 (具体的活動)	評価及び担当者							除外 範囲	
		リサイクル 事業部	リサイクル センター	環境保全部	総合管理部	営業部	熊本南営業所	総務部	指定管理部 各常駐先	
電気使用量の削減	出来るだけ消灯する	○ 深井	○ 橋本	○ 田中	○ 近藤	○ 甲斐	○ 内田	○ 宗村	○ 小石	
	できる限り残業しない	△ 深井	○ 橋本	○ 田中	△ 近藤	○ 甲斐	○ 内田	○ 宗村	△ 小石	
	エアコンの設定温度は室温を基準とし、冷房時28℃、暖房時20℃に設定する(温度計設置)	○ 深井	○ 橋本	○ 田中	○ 近藤	○ 甲斐	○ 内田	○ 宗村	△ 小石	
化石燃料使用量の削減	ガソリン	アイドリングストップ	○ 河野	○ 岩田	○ 津志田	○ 緒方	○ 平野	○ 川上	○ 勝木	○ 村上
		エコドライブ実施(急発進急停止の禁止等)	○ 河野	○ 岩田	○ 津志田	○ 緒方	○ 平野	○ 川上	○ 勝木	○ 村上
	軽油	アイドリングストップ	○ 河野	○ 岩田	○ 津志田	○ 緒方	—	—	—	—
		エコドライブ実施(急発進急停止の禁止等)	○ 河野	○ 岩田	○ 津志田	○ 緒方	—	—	—	—
	灯油	退社15分前に暖房器具を止める	—	○ 岩田	○ 津志田	○ 緒方	—	—	○ 勝木	△ 村上
		ウォームビズの実施	○ 河野	○ 岩田	○ 津志田	○ 緒方	○ 平野	○ 川上	○ 勝木	○ 村上
水使用量の削減	水道メーターの定期確認	○ 長村	○ 豊岡	○ 石川	○ 田中	○ 永本	○ 栄永	○ 宗村	○ 内田	
一般廃棄物の排出量削減	分別を徹底しリサイクルに努める	○ 山田	○ 岩田	○ 近藤	○ 田添	○ 五嶋	○ 栄永	○ 勝木	○ 勝間田	
受託産業廃棄物のリサイクル率100%の推進	排出事業者様への情報提供を行い、リサイクル処理を促す	○ 竹口	○ 中村	—	—	—	—	—	—	
グリーン購入率の向上	コピー用紙	—	—	—	—	—	—	○ 宗村	○ 平間	
	トイレットペーパー	—	—	—	—	—	—	○ 宗村	○ 平間	
化学物質の適正管理	購入前に化学物質含有量等の確認を行う	—	—	○ 草野	○ 前田	—	—	—	—	
社会貢献・清掃活動実施	積極的に取り組む	○ 木嶋	○ 吉永	○ 吉川	○ 上田	○ 平野	○ 川上	○ 勝木	○ 内田	

※除外範囲の指定管理部および各常駐先についても同様に評価を行っております。

◆ **環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無**
 環境関連法規に関して遵守状況を確認した結果、違反等はなかった。
 また、関係行政機関等からの指摘・指導、利害関係者からの訴訟等もなかった。

関 連 法 規	遵守状況
騒音規制法	○
振動規制法	○
悪臭防止法	○
下水道法	○
家電リサイクル法	○
労働安全衛生法	○
廃棄物処理法	○
再生資源の利用の促進に関する法律	○

8. 取組結果とその評価、次年度の取組内容

◆ 電力使用量の削減

前年度、目標を達成出来なかったので活動計画をより意識して行動したが、達成することは出来なかった。月毎に見ると目標数値に近付いた月もあったが、ほとんどの月で目標数値を大きく上回ってしまった。昼休みの消灯、空調温度の適正化はほぼ遂行されていたが、できる限り残業をしないという活動計画がうまく実行されていなかったように思われる。今後は委員会を中心に社員へ徹底した呼びかけを行い、各個人の電力の削減に対する意識を向上させたい。

◆ 化石燃料使用量の削減

● ガソリン使用量の削減

エコドライブの意識向上やエアコン使用を控える呼びかけ等を行い、ガソリン使用量の削減を目指して取り組んできたが目標を達成することができなかった。業務拡大に伴う車両の増加が主な要因だと考えられる。今後も引き続きエコドライブの意識向上を図り目標の達成を目指す。

● 軽油使用量の削減

ガソリン同様軽油についてもエコドライブの呼びかけ等を行ったが、目標を達成することができなかった。これは業務量の増加が主な要因と考えられる。今後もエコドライブの呼びかけを継続して意識向上を図るとともに運行計画等の見直しと併せて適切な計画を立て使用量の削減を目指す。

● 灯油使用量の削減

ウォームビズの呼びかけを継続して行った結果ウォームビズの定着により暖房器具の使用時間の短縮につながったことで目標を達成できた。これからも呼びかけの継続や事務処理の効率化で更なる使用量の削減を目指す。

◆ 水使用量の削減

平成26年度は、4月が目標に達成できなかったが、その他の月に関しては水使用量が削減できた。節水ステッカー掲示の効果と、洗車時に使用量を意識する事で削減できたと考えられる。平成27年度もこの状態を維持する為、洗濯を1日1回にするなど目標にしたい。

◆ 一般廃棄物（可燃ごみ）の排出量削減

社員一人一人の分別意識向上により、今期は目標を達成することができた。今後もエコアクション21委員会を中心に一層の指導を行い、チェック体制の強化と分別などの講習会を実施していく。

◆ 受託産業廃棄物（中間処理）のリサイクル率100%推進

中間処理業者として処理技術の向上を図ってきたことと、再資源化に取り組んでいる2次処理業者数社と新たに契約したことにより、リサイクル率を達成することができた。今後も、処理技術の向上の為の講習会実施や2次処理業者の情報収集を行い、リサイクル率100%を維持していく。

◆ グリーン購入率の向上

環境に配慮したコピー用紙・トイレトペーパーを優先的に購入することが継続できている。今後は、その他事務用品などの購入の際に環境配慮製品への切り替えを検討し、可能な範囲でグリーン購入を推進していく。

◆ 化学物質の適正管理

当社が使用する製品には、PRTR法に該当する指定化学物質は含まれていないが、化学物質の使用の際には十分に注意するとともに、使用量の削減や出来るだけ使用しない事への取り組みを継続していく。

◆ 社会貢献・清掃活動実施

前年同様、年2回会社周辺道路のゴミ拾いなど環境美化活動を行った。毎年行っている活動でもあり、回を重ねる毎に全社員の社会貢献への意識が向上している。地域の環境美化は環境活動の第一歩のため、社員一人一人が環境保全に関する意識をさらに向上させ、今後も継続して積極的に活動を行う。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

平成 26 年度は全社的にみると 3%弱の売上増となり、また社員数も 19 名増加した。

我が社はサービス業であり、人がサービスを行うことで収入を得ているため、増員があるとそれに伴い化石燃料やごみの排出量が増えることはやむを得ないことである。

しかし、間接部門である事務所や施設内で使用する電力や水については目標以上の成果が得られており、委員会の取り組みが功を奏し、個々の社員の意識改革につながった成果だと思えます。

今後は環境への取り組みと社業の成長の両立を目指し、組織的な行動によるムリ、ムダ、ムラの削減を図るとともに、目標の達成に向け、更なる活動と積極的な行動に期待したい。